

オーケストラ・エレティール

第64回定期演奏会

シューマン 交響曲第4番(1841年版)

R.SCHUMANN Symphonie Nr.4 d-moll op.120

~~~~ 休憩 20分 ~~~~

ブラームス 交響曲第4番

J.BRAHMS Symphonie Nr.4 e-moll op.98

指揮:新田ユリ

die Dirigentin: Yuri Nitta

2021年10月10日(日) 14:00開演

府中の森芸術劇場 どリーむホール

## ご挨拶

本日は、ご来場いただき誠に有難うございます。

今夏の感染症の拡大では練習の中止などを余儀なくされつつも 本日、演奏会を迎えることが出来たことに、団員一同、喜びを感じております。

つたない演奏ではございますが、お楽しみ頂ければ幸いです。

オーケストラ・エレティール 一同

## 指揮者紹介 新田ユリ

1990年ブザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト、1991年東京国音楽コンクール〈指揮〉第二位受賞。東京交響楽団を指揮してデビュー後、国内主要オーケストラへ客演し、2015年～2020年愛知室内オーケストラ初代常任指揮者を務める。

近年は北欧音楽の演奏・研究を活動の柱の一つとしており、2000年10月から1年間文化庁芸術家在外研修生としてフィンランド・ラハティ交響楽団にて音楽監督オスモ・ヴァンスカのもと研鑽。以後日本とフィンランドを拠点として活動を続け、クオピオ交響楽団、ミツケリ市管弦楽団、ヨエンスー市管弦楽団、クリスチャンサン管弦楽団、フィンランド国防軍吹奏楽団、フィンランド海軍吹奏楽団、ラ・テンペスタ等北欧各国のオーケストラに客演。

2017年には南デンマーク・フィルハーモニー管弦楽団に客演し、ニルス・ゲーゼ生誕200年を記念したオールデンマークプログラムの定期公演を指揮。フィンランドの歴史ある音楽祭からも招聘され、2005年～2007年オウルンサロ音楽祭、2006年・2013年・2019年リエクサ・ブラスウィークで指揮をする。

2019年夏には愛知室内オーケストラとともにリエクサ・ブラスウィークから招聘を受け、オーケストラ初の海外公演となるフィンランドツアーを成功させた。

また海外の著名ソリストとの共演も多く、ゲルハルト・オピッツ、シプリアン・カツァリス、マキシム・ヴェンゲーロフ、ヨウコ・ハルヤンネ、オイスタン・ボーズヴィーク等世界的ソリストと共演する。

国立音楽大学と桐朋学園ディプロマコースにおいて尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、小松一彦各氏に師事。

現在、日本シベリウス協会第3代会長。アイノラ交響楽団正指揮者。著書に「ポホヨラの調べ」（五月書房新社）。

公式ウェブサイト: 森と湖の詩 <https://www.yuri-muusikko.com>



## 曲目紹介

### シューマン 交響曲第4番(1841年版)

前回に引き続き、通常とは異なる状況で企画された本演奏会ですが、最初に決まった曲は、このシューマンの交響曲第4番です。実は、この曲、オーケストラ・エレティールではちょうど10年前の2011年9月、第44回定期演奏会で取り組んでいます。しかしながら全く同じ曲の再演かというときにあらず、今回は1841年に完成した初稿版にチャレンジしています。

この曲は、19世紀稀代の女性ピアニストとして有名なシューマンの妻、クララへの誕生日プレゼントとして贈られました。初稿が完成した1841年は、他にも“交響曲第1番 変ロ長調「春」”や“序曲、スケルツォと終曲”(交響曲第4番初稿版と同じ日に初演を迎えた)が立て続けに発表されており、ロベルト・シューマンが管弦楽への大々的な歩みを踏み出した年と言えます。

“第4番”というネーミング(順番)も、改訂を受けて出版されたのが“交響曲第3番 変ホ長調「ライン」”より後になったことからなされたもので、実際は、現在、交響曲第2番として知られているハ長調交響曲が完成した1846年より前に完成しているのです。

シューマンは、この曲を“1. 急速な楽章 / 2. 緩やかな楽章 / 3. 舞曲風の楽章 / 4. 急速な楽章”という交響曲の旧来の型を踏襲しつつも、楽章間に休みを置かずにつなげてしまいました。1841年初演時、「聴衆は曲全体を、通常よりもいささか長い第1楽章と思っていたのだった」と評されるほどであり、本人は“交響的幻想曲”とも呼んでいたそうです。

交響曲第4番の初稿版と改訂版の間には、オーケストレーションをはじめとして演奏面でかなりの違いがあり、シューマン夫妻と浅からぬ関係性を持っていたブラームスは、出版にあたってこの初稿版を推していたとも伝えられています。“たった”10年前に同じ曲を経験した我々も、ブラームスの交響曲と共に演奏するこの曲は、今回の演奏会のピースとして相応しいと自負していたりして…。舞台上から10年分の熟成をお届けできれば良いのですが！

## ブラームス 交響曲第4番

曲目解説の前に、今回の舞台上での普段と異なる点について触れさせていただく。

### 【弦楽器の配置】

バイオリンの1番と2番が客席寄りの向い合せに座り、指揮者の前のスペース前列がビオラ、後列にチェロ、チェロの後方にコントラバスを舞台左右に配置している。いわゆる対向配置の変則版、といったところだろうか。オーケストラの配置については、常に最適解の模索が行われており、ブラームスの時代も様々なトライアルがなされていたらしい。その中で、ブラームスが気に入っていた配置があった。ボストン交響楽団の初代指揮者となった友人、ゲオルク・ヘンシェリンが1881年に試した配置である。ブラームスがボストンに宛てた手紙の中で、「オーケストラの配置の実験はすごく良いし面白い。二つの図では絶対、最初の方が好きだな」という文面がみられるそうだ。この「最初の方」の配置が、本日の演奏会での配置であり、試行から140年を経て本日の舞台上で具現化する。左右からステレオ関係するバイオリン群と奥から厚みを重ねる中低弦群とが混じり合う音圧をお楽しみいただきたい。

### 【弦楽器の譜面台】

通常オーケストラでは、管楽器は一人一本、弦楽器は二人一本の譜面台を使うが、今回は弦楽器も一人一本となっている。ソーシャルディスタンス仕様なのだが、高年齢プレーヤーには譜面が近いことは目に優しくありがたい。

### 【ブラームス交響曲第4番】

本作品は、1885年10月に初演されたが、この時、ブラームスは52歳、正に円熟期である。初演前の試演(ピアノ2台でのデモ演奏)では「緻密で怒られている感じがする」とディスられたが、オーケで鳴らしたら大成功となった。「緻密な仕掛け」を「自然な美しい響き」として聴かせる天才の罫(=沼)にはまるひとときをお過ごしいただければ幸いである。

以下、各楽章の目安長さ(練習時実測値)と構成について記載する。楽章間は間をとる予定である。

第一楽章 木短調 13分29秒 ソナタ形式 和声の響きに彩られる「ため息」が美しい。

第二楽章 木長調 11分55秒 ソナタ形式 木管と弦が交互に歌い上げる旋律が見事。

第三楽章 ハ長調 7分00秒 ソナタ形式 能天気な明るい2拍子のスケルツォ。

第四楽章 木短調 10分56秒 シャコン形式 管打楽器で提示する冒頭8小節の主題を36回も変奏し展開していく。時に美しく、時に激しく変化する音の波を体感いただきたい。

## オーケストラ・エレティール 第64回定期演奏会

指揮:新田 ユリ

コンサートマスター:大津山 由貴

インスペクター:酒井 将

|            |                                                                                                 |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Violin     | 伊賀敏樹 大越智 大津山由貴 大橋健 越知広美 佐藤麻美 佐藤直也<br>始沢千絵 城之内素子 鈴木禎嗣 関建一郎 高山由紀子 高山佳子<br>土屋理恵 富井瞳 西川富之 平田朱音 平田京子 |
| Viola      | 尾川日向子 岡田健 鈴木優哉 荷田聡志 丸山真由子 宮本有紀子<br>吉木徹                                                          |
| Cello      | 井上真吾 田代厚史 吉元洋志 渡辺啓子 綿貫かおり                                                                       |
| Contrabass | 内山祥広 甲斐田美奈子 林正道 吉田幸平                                                                            |
| Flute      | 金澤慧 合田梨乃 新庄美菜                                                                                   |
| Oboe       | 大津山卓哉 佐藤尚也 樋口奈津江 樋口晴彦                                                                           |
| Clarinet   | 清水俊樹 村田理子                                                                                       |
| Fagotto    | 清水夕子 長澤有子 村田浩隆 吉田大                                                                              |
| Horn       | 飯塚みき 大森正敏 折原大 小林賢一郎 宮崎健二                                                                        |
| Trumpet    | 齋藤寛 松本朗                                                                                         |
| Trombone   | 植村卓 金子智博 酒井将 鈴木理砂                                                                               |
| Percussion | 石井美雪 山本和幸                                                                                       |

## 演奏会のご案内

- ♪ オーケストラ・エレティール 第65回定期演奏会 指揮:未定  
2022年4月16日(土) 開演時間未定(昼公演)  
IMAホール(練馬区光が丘)  
曲目:未定  
<https://www.eltl.org/>
- ♪ オーケストラ・エレティール 第66回定期演奏会 指揮:未定  
2022年10月9日(日) 開演時間未定(昼公演)  
ティアラ江東 大ホール  
曲目:未定  
<https://www.eltl.org/>
- ♪ アンサンブル・フラン ウィンターコンサート2022 指揮:新田ユリ  
2022年2月6日(日) 14:00開演  
第一生命ホール  
曲目:ゲーゼ ノヴェレッテ作品53 ほか  
<http://ensemblefranc.jp/>
- ♪ アイノラ交響楽団 第19回定期演奏会 指揮:新田ユリ  
2022年4月3日(日) 開演時間未定  
杉並公会堂 大ホール  
曲目:シベリウス ルオンノタル、交響曲第1番 ほか  
<https://ainola.jp/>
- ♪ グリューナーヴァルト合奏団 第8回定期演奏会 指揮・ヴァイオリン独奏:篠原英和  
2021年11月7日(日) 13:30開場 14:00開演  
トッパンホール(全席自由1,000円)  
曲目:ドヴォルザーク 弦楽セレナーデ、J.S.バッハ ヴァイオリン協奏曲第2番 ほか  
[x1nchao@yahoo.co.jp](mailto:x1nchao@yahoo.co.jp) チケットぴあPコード201597 ※未就学児入場不可
- ♪ 国分寺チェンバーオーケストラ コンサート 指揮:坂本徹  
2021年11月21日(日) 14:00開演  
小金井宮地楽器ホール 大ホール(JR武蔵小金井駅南口駅前)  
曲目:E.H.メユール 交響曲第1番J.ハイドン:交響曲第60番「うかつ者」 ほか  
<http://www.din.or.jp/~mimeiso/kco/concert.html>

♪ 水星交響楽団 第62回定期演奏会 指揮:齊藤栄一  
2021年11月28日(日) 12:30開場 13:30開演  
すみだトリフォニーホール 大ホール(全席指定1,500円)  
曲目:ショスタコービチ 交響曲12番「1917年」ほか  
<https://suikyo.jp> [info@suikyo.jp](mailto:info@suikyo.jp) 090-1608-5749(植松)

♪ 電気通信大学管弦楽団 第64回定期演奏会 指揮:小森康弘  
2021年12月19日(日) 14:30開演  
調布市グリーンホール 大ホール  
曲目:W.A.モーツァルト 交響曲第40番ト短調 ほか  
<http://www.orchestra.club.uec.ac.jp/about/>

～～～ お出掛けの際は、最新の状況をご確認頂きますよう、お願いします。 ～～～

当プログラムの転送および、記載内容、画像等の転載・引用を固く禁じます。